

第10回 コンクリート生産性向上検討協議会
議事要旨

1. 開催日時：令和3年2月9日（火）15：00 ～ 17：00
2. 場 所：WEB 会議
3. 議 事
 - (1) これまでの主な議論について
 - (2) 要素技術の一般化・規格の標準化の検討
 - 1) 「コンクリート構造物における埋設型枠・プレハブ鉄筋に関するガイドライン」他2ガイドラインによる生産性向上効果等
 - 2) 流動性を高めたコンクリートの普及促進についての検討
 - 3) プレキャストの適用の検討（中型構造物、大型構造物）
 - 4) 令和2年度の実施内容のまとめ
 - (3) サプライチェーンマネジメント等の検討
 - 1) コンクリート打設時の情報電子化について
（一般社団法人 日本建設業連合会）
 - (4) 情報提供等
 - 1) 新形状のPCaボックスカルバート「角丸カルバート」
 - 2) 近畿地方整備局プレキャスト化推進検討会
 - (5) 今後の展開

主な議論の内容は以下の通り

- コンクリートの生産性向上に関わる各ガイドラインは、引き続きフォローアップ調査を実施し、必要に応じて改定に向けた検討を進めるとともに、各地方整備局等に改めて周知することとする
- 設計成果には標準となるスランプを参考値として明記することとするが、このルールが施工上または契約上で問題とならないように周知することとする
- なお、明記する標準的なスランプは12cmとするが、現場特性や各地方整備局の運用により、この限りではない
- 特殊車両で運搬可能な規格については、原則、プレキャスト化する方針とし、関係法令の遵守や事前の輸送ルート調査等の留意点をあわせて周知することとする

- プレキャスト化の取り組みは、設計段階から働き方や環境などニーズを考慮していく事が大事、設計と施工を分離しない発注方法などの検討が必要。
- Value for Money を考慮した比較検討方法については、評価項目として、働き方改革以外にも、最近の社会情勢やコロナ後を考慮したものを検討し、進めていくべき
- 生コン情報の電子化については、提出書類の簡素化等による生産者側にもメリットを創出することを検討し、実装に向けて進めていく
- 試験や検査の合理化は、従来の方法を代替できる方法を複数考えていき、良い方法を使用するという方向性で進める

以上